

企業の声

K－STEPを活用している障害者の上司や同僚の方にインタビューを行いました。

■セルフケアシートの報告を受けて、相手の体調が分かりやすくなりましたか？

- シートを見ることで体調や気持ちに日々変化があることがわかった。
- 日々の体調の変化に気づきやすい。状態が「見える化」できるところがよい。
- 体調以外にも、「ストレスがかかっているか？」「集中力はどうか？」などメンタル面のことも分かるのでとても分かりやすい。それを見て一日の作業の組み立てを考えて指示が出せる。

■コミュニケーションのきっかけ（コミュニケーションツール）になっていますか？

- 体調が良いかどうかの報告にとどまらず、その理由も聞けるため役にたつ。本来なら聞きにくいことも声をかけやすくなるし、仕事のことでなく雑談になることもある。
- 報告の時にこちらからも質問をしていくと、コミュニケーションを深めるきっかけになる。
- 報告を始めてから数ヶ月たつと、お互いに慣れてきて、報告の延長で雑談をするようになったり、関係を深めることにも繋がっている。

■合理的配慮の提供をしやすくなりましたか？

- 注意サインが出ていると（配慮について）本人から相談をしてくれるので、とてもやりやすい。
- 「注意サインが出ているから気をつけないと」といった目安になるため、それに合わせて指示が出せたり、作業内容を変更したりといった配慮がしやすくなった。
- シートを見るだけでは本人にどういう配慮をしていいかは分からない。普段から話をする中で、「事務所が騒がしいので、少し別室で働いてもらった方がいいかな」とか、こちらからも提案ができるようになった。

■勤怠の安定や職場定着に役立っていますか？

- 役に立つと思う。漠然とではなく、自分に合った項目に沿って、毎日継続してチェックすることで、自分を客観的に見つめることになると思う。
- 注意サインが出た時に適切に対処できるなど、効果的な使い方ができていれば効果はあると思う。
- 離職する人は、コミュニケーション・仕事内容・仕事量にミスマッチがあると思う。コミュニケーションの部分はK－STEPが大きな役割を果たしている。体調が悪い時は、仕事内容や仕事量を変えたりしているので、K－STEPをきっかけに色々な工夫はできると思う。

■今後もK－STEPを続けてほしいと思いますか？

- 続けた方がいいと思う。一日2回報告を受けているが、1回の報告にかかる時間は長くても5分程度。その5分も雑談も含めての時間なので、負担はないし、許容範囲だと思う。
- 今後も続けてほしい。企業としては続けることのデメリットがないし、むしろメリットが大きい。もしシートがなかったら体調がどうなのか判断に困る。
- 良好サインが出ていれば安心して仕事を任せられるし、注意サインが出たら作業状況を途中で確認しようとか、作業指示にも工夫ができる。